

エコクレイウォールⅡ工法^{PAT}

無排泥粘土遮水壁工法

NETIS登録番号(18KT-160027-A)*
建設技術審査証明 建技審証第 0701 号
(一財)土木研究センター



エコクレイ
ECウォール工法協会



 EC(エコクレイ)ウォール工法協会

事務局
〒102-8236 東京都千代田区九段北4-2-35 ライト工業株式会社内
TEL.03-3265-2565 FAX.03-3221-5929

会 員

株式会社 安藤・間	戸田建設株式会社
株式会社 大林組	西松建設株式会社
鹿島建設株式会社	前田建設工業株式会社
清水建設株式会社	三井住友建設株式会社
大成建設株式会社	ライト工業株式会社 (50音順)

発 行 2018年1月
770428_200_TB

*NETISの「旧」表記はNETIS掲載期間終了技術です。

エコクレイウォールII工法 PAT

eco clay wall II system

エコクレイウォールII工法は、粘土鉱物（ECウォール材）を主材料とした、セメントを使用しない遮水壁工法です。当工法は、少量の掘削液と粉体状のECウォール材とで混合攪拌を行います。この粉体状のECウォール材が掘削液を吸水し膨潤することで排泥を発生させることがなく、長期耐久性に優れた遮水壁を造成できます。

特長

① 長期耐久性

使用する材料は粘土鉱物を主体とするため、壁体の劣化がなく耐久性に優れた遮水壁を造成できます。

② 高い遮水性

止水シートを併用せずに高い遮水性を実現し、透水係数は、 1.0×10^{-9} (m/s)以下と非常に優れた性能を有しています。

③ 地震に対する信頼性

セメントを使用しないため、変形追随性能および自己修復性能を兼ね備え、地震発生後においても遮水性能は健全であり、信頼性の向上が図れます。

④ 吸着性

粘土鉱物を用いた壁体であるため、壁体自体に重金属等の汚染物質を吸着する能力を有しています。また、セシウムに対する優れた吸着能力も確認されています。

⑤ 経済性

排泥がなく、経済性に優れた工法です。

⑥ 環境配慮型工法

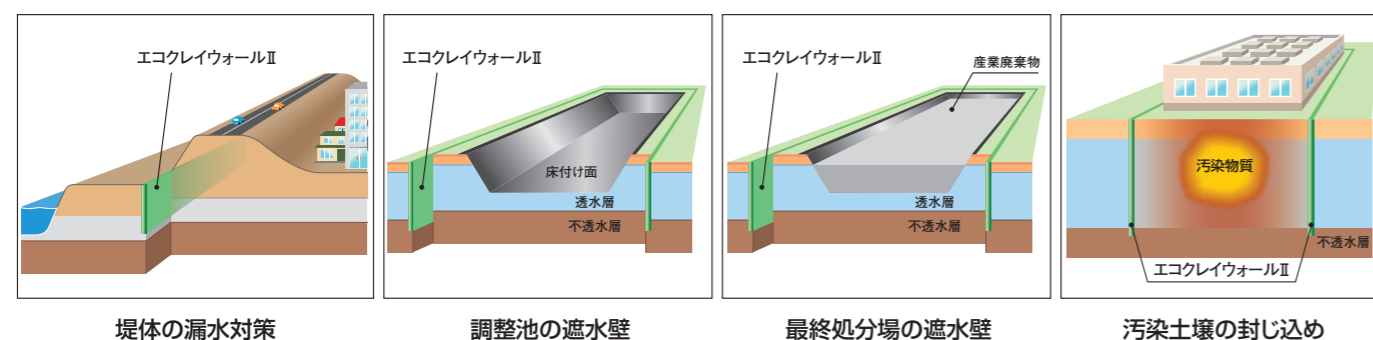
施工時の排泥がなく、材料生成時に発生するCO₂の削減に繋がり、環境負荷を大きく低減することができます。



壁掘削断面 (t=700mm)

適用例

当工法は長期耐久性、遮水性、地震時の信頼性に優れていることから、堤体の漏水対策、調整池の遮水壁、最終処分場の遮水壁、汚染土壌の封じ込めなどに適用できます。



施工機

要求施工深度や現場条件に応じて大型と小型の施工機を選択できます。



大型等厚式施工機での施工状況



小型等厚式施工機での施工状況

配合

配合タイプを2種類から選択できるため、要求された遮水性能に応じた配合の設定が可能です。

用途(例)	要求遮水性能	配合タイプ
汚染土壌の封じ込め	1.0×10^{-9} (m/s)以下	Aタイプ (ECウォールA材使用)
調整池等の遮水	1.0×10^{-8} (m/s)以下	Bタイプ (ECウォールB材使用)

施工手順 大型等厚式施工機(例)

